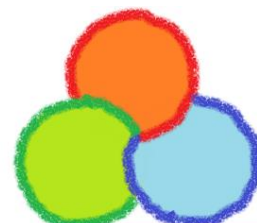


# 令和元年度 特別支援教育セミナー



さと  
地域支援センターにしの郷

令和元年7月29日（月）、福島県特別支援教育振興会県南支部と福島県特別支援教育研究会の共催により、特別支援教育セミナーが白河市産業プラザ人材育成センターと本校において行われました。県南地区を中心に福祉、企業、幼稚園、保育園、小学校、中学校、特別支援学校から、午前と午後を合わせて約90名の関係者が参加し、本校職員とともに特別支援教育について学びました。

## 「発達に課題を抱えた子どもの支援 ～早期からの支援を地域でつなぐ～」

今年の講演は、新潟大学より教育学部教育科学講座 教授有川宏幸先生をお招きし、「発達に課題を抱えた子どもの支援～早期からの支援を地域でつなぐ～」という演題で講話をいただきました。参加者が障がいの疑似体験をして、困り感を実際に体験した上で、発達に課題を抱えた子どもの視点で生きにくさの具体例を分かりやすく紹介していただきました。



### \*参加者の感想より\*

「大人が子供を理解する手立てを分かりやすく実体験を交えて聞くことができました。」

「子供の困り感を体験して、支援をひと手間かけることの大切さを知ることができました。」

「具体的でわかりやすい話だった。子供たちがどういう状態なのか、経験させてもらうことでどのように困っているのかがわかりました。」

「自分の経験と知識で判断していた子供の困難を、体験を通して深く理解することができました。自分が支援している子供とのかかわり方につながる部分が多かったです。」

「具体的な指示の仕方、かかわり方について『子供は何に困っているのか』という視点で学ぶことができ大変勉強になりました」

この他にもたくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。



## 午後は、本校職員の講師による、 実技・進路・相談支援研修！！



「消しゴムはんこの制作」



「ICT機器を活用した実践例紹介」



「高等部木工班の紹介  
及び『ツール』製作」



「個別の指導計画の目標設定  
～課題関連図で考える～」



「より良い進路を考えよう～  
実践事例から進路実現までの  
進め方について～」



「サクッと視覚支援」

### 受講者の感想より

- ・ 進路担当の先生から実際の話が聴けて、とても大きな実りになりました。
- ・ 個別の指導計画について、具体的な方法を学ぶ機会がなく、今日はマニュアルに沿った解説があり勉強になりました。
- ・ 個別の指導計画を作成する際、今までモヤモヤしていたところが少しすっきりしました。これから実践を通して少しずつ自分のものにしていきたいです。
- ・ 視覚支援は学習の中だけでなく、生活の中でも活用していけるということを学びました。
- ・ 視覚支援は視覚的目印を付ければ理解するというわけではなく、アプローチの仕方もとても重要だということを考えさせられました。
- ・ 初めて消しゴムはんこ作りをやってみました。難しさもありましたがとても楽しかったです。「Good!」のはんこは、生徒の宿題まるつけの時に活用したいと思います。
- ・ 消しゴムはんこだけでなく石膏での制作も体験でき、勉強になりました。
- ・ 実際に木エスツールを作ることで、「この工程は補助具が必要だ」などと考えることができ、授業準備に生かせる内容でした。
- ・ 工具を使った安全な活動の仕方、実態に応じた補助具の考え方など、勉強になりました。
- ・ プログラミングについて学ぶ機会がなかったので大変勉強になりました。
- ・ 「プログラミング」という名称から難しいイメージがありましたが、体験を通してコンピュータを使って楽しく学ぶということがわかりました。